



あなたのカルマ鑑定書  
～運命の人と出会えないのは？  
人生の旅とソウルメイトの深い関わり～

Ms Y□□□、I□□□

Yさん、こんにちは。

この度はご依頼いただきましてありがとうございます。

お仕事が好きというのは、ある意味とても幸せなことだと思います。

ただ恵まれている部分にも必ず影の部分があります。

それは見たくない自分、認めたくない自分をごまかせることです。

Yさんの場合も、今感じている強い孤独感は最近のものではなく、

何十年もずっと抑圧していたものが耐え切れなくなって

表れてきているのかなとリーディングさせて頂き思いました。

ずっと前からうっすらと気が付いていたのかもしれませんが、、、

少しでもその孤独感が解放されるといいなと思っています。

そしていつからでもちゃんと愛する人と歩いていけるという希望を

感じて頂けたらいいなと思っています。

さて、いろいろな情報を過去世という側面からと

ホロスコープという側面からリーディングさせていただきますね。

まず初めに前世からみてみますが、ここで前世について少しお話させてください。

人間はたくさんの前世をもっており、平均で100前後と言われています。

正確な数字がわからないのは、私の場合、

今の現時点で関係のある前世しか見られないからです。

ほかの情報はシャットアウトされます。

ですので、ここで私が述べる前世というのは、

今の人生の一つ前の人生ではなく、

今抱えていらっしゃる問題に対しての解答になる前世になります。

もう一つ、

実はこの世には、〇〇(有名人)の過去世だった人がたくさんいます。

なぜかというと、魂は肉体を離れると、

一つ一つ分離している状態は長く続かず、

すべての根源に一度溶けこむからです。

そしてご了承頂きたいこととして、

詳細な地名や年数が出るときと、出ないときがあるということです。

では早速、魂の系譜を紐解いてみましょう。

場所は1700年から1800年ごろのヨーロッパのようです。

Yさんは40歳前後の男性です。

若い人たちの前に立って、何かを話しています。教えているようです。

学校(高等教育)の先生(教授)のような立場でいらっしゃるようです。

とても優しいお顔をしているとおり、性格も穏やかで思慮深い、そんな男性です。

先生という職業からも家柄もよくて傍から見ると

誰もが羨ましがらる恵まれた環境にいます。

彼には奥さんがいます。

彼の奥さんも彼の家柄に見合った女性のように、お見合い結婚でした。

結婚生活は、はじめはとてもうまくいっているようにみえました。

奥さんは控えめで、おとなしい女性です。

家事全般はお手伝いさんがしてくれているので、

彼女は趣味の手芸やピアノを弾いたりしていました。

家で夫の帰りを静かに待っている、そんな女性でした。

でも少しずつ少しずつズレが生じてきます。

一つは子どもができないことだったようです。

財産はあったので、いろいろな治療を試みたのですが、

子どもはできませんでした。

周りにはあまりそれについて強く言うこともなかったのですが、

奥さんは塞ぎ込むことが多くなっていきました。

結局調べても原因はわからなかったのですが、

奥さんは自分のせいだと思い込んでいったのです。

そのため情緒が不安定になっていきました。

話し相手を探ったり、ペットを飼ったりしてみましたが

症状は良くなるらずに悪くなる一方。

そんな状態が数年続くと、今まで身ざれいにしていただけに

自分の容姿をかまうことなく、だんだんと老け込んでいきました。

お手伝いさんが世話をすることも嫌がり、

あの控えめな女性はどこに？と思うほどヒステリックにもなっていきました。

男性はとても優しい性格でしたので、奥さんのことはとても心配していました。

なので、できるだけ奥さんの要望に応えていました。

早く帰ってきて！と言われたら、無理してでも帰ってきました。

この洋服が欲しい、このジュエリーが欲しいといえば、

服屋や宝飾屋を家に招いて奥さんの望みを叶えていました。

男性が疲れて帰ってきてても、奥さんの要求はとまりません。

ずっと手を握っていて！

このお夕食は嫌なの！

今からここに行きたいわ！

仕事も忙しいので、本当は家でも少し仕事をしたいのですが、出来ません。

あげく、仕事を休んで欲しい！！

と言われ、その望みも叶えてあげるようになっていきました。

もともと生徒にも慕われ、仕事の責任感も強く、優秀な先生だったのですが、

毎日毎日の奥さんの激しい要求で疲れ切っており、

どんどん仕事のミスが増え、どんどん無気力になっていきました。

彼を慕っていた人は心配する人もいましたが、

彼のもとから去っていく人もおり、それがますます悪循環を引き起こします。

学校側も困っていました。

そして彼は仕事での大きなチャンスを台無しにしてしまいます。

学校や上司は彼に目をかけていたのですが、

彼の仕事の質の低下を見過ごすことはできないところまでいったからです。

彼は失意の中にながらも、ある種諦めの気持ちで日々を過ごしていました。

十数年後、奥さんは亡くなります。

彼にとってはずっと尽くしてきた人に先立たれ、心がからっぽになりました。

ここで少し彼の生き立ちが見えてきたのですが、

長男として育った彼は、主に乳母に育てられたようです。

けれども他の兄弟は母親が育てました。

彼はその状況が寂しくて、母親をとても求めていたのですが、

彼の心が満たされることは少なく、とても孤独な気持ちで大きくなったようです。

彼が奥さんに自分を犠牲にしてまでも尽くしてしまったのは

この幼少期の孤独感が影響しているようです。

奥さんにお母さんを重ね合わせていたようで、

奥さんが自分を求めてくれるのは、お母さんが自分を求めていると

重ね合わせて(錯覚)しまっていたのです。

これが一つ目の過去世です。

二つ目もみてみましょう。

横たわって寝ている20代の男性がいます。

この方がYさんです。

どうやら小さいころから病弱なようで、

人生の大半を家で療養をしながら過ごしています。

そのため、彼は自分自身に罪悪感をとても感じていました。

ご両親に心配をかけている、迷惑をかけている罪悪感

生きているのに社会の何の役にも立っていないように感じる罪悪感

そんな日々に嫌気をさしていました。

家族はとても心温かな人たちで、彼のことをとても愛していたので、

彼を責める人はいませんでした。

彼がふさぎこんでいるのをとても心苦しく思っていました。

彼は自分が感じている罪悪感について相談はせず、一人で抱えていたので、

家族は彼がどうしてそんなに悲観的なかが分からずにいました。

ただただ悲しんでいました。

数年後、彼の兄弟が結婚し家を継ぐと、女の赤ちゃんが産まれました。

その子が成長すると、彼とたくさんお話をするようになりました。

彼も姪っ子がとても可愛いく、いろいろなことを教えたり、お話ししたりしていました。



彼はいつも家にいたので、本は人生の相棒のようなものです。

なので、たくさんの知識を知っていました、

家でできるような実験や工作などもしていました。

いろいろな知識があり、引き出しが多い彼の話はとてもおもしろくて

姪っ子は目をキラキラさせながら叔父とずっと遊んでいる、

そんな日々を過ごします。

それは二人にとってはとてもワクワクするような時間でした。

けれども同時に、彼の心の中に、もし社会で働いていれば

もっと多くの人に貢献できたかもしれない、

より人生を充実させられたかもしれないという悲しみも生み出します。

自分の身体を恨むとか、環境を嘆くというよりも、

纯粹にこうしたかった、あーしたかったという思いが強くてできているようです。

過去世のリーディングはここまでです。

つぎに占星術の面からYさんを紐解いて見ましょう。

パートナーシップの部屋は第7室なのですが、海王星が入っていますね。

海王星というのは潜在意識、夢、幻想などの意味があり、

7室にこれが入っている方は、

現実感をもってパートナーシップを構築するのが苦手です。

鑑定士の中には男運がないと判断する人もいます。

けれどもそれは違いますから安心してください。

確かにパートナーシップを構築するのが苦手だというのはありますが、

幻想ではない真のパートナーシップを築いていきたいという

Yさんの魂の願いが込められているのです。

最初の過去世であるYさんの前世の男性は、

奥さんの中にお母さんを色濃く反映させてしまっていました。

ですので、自分の人生までも犠牲にしてしまったのです。

それは真のパートナーシップとはいえませんね。

なので、Yさんの第7室の海王星は、

そういう幻想を打ち破って、今生では生きていくという意志の表れです。

それに加えて、その海王星はサインが蠍座です。

幻想を打ち破っていくということは、

心の幻想を打ち破っていくということでもあるのですが

それは自分自身の孤独感がこの状況を招いてしまったということ

彼は亡くなった後、気づきを得たので、

それを克服するということも含まれているようです。

海王星は前世を表すドラゴンヘッドと相性の良い角度をとっています。

なので、今生それは克服できる＝真のパートナーシップを築ける

という希望の表れです。

くわえて海王星は、5室の冥王星とも角度をとっています。

5室は「娯楽・恋愛」のお部屋です。

冥王星を活かすことで、7室の海王星はバランスを取り戻すことができます。

ご自身の中にある子供のころを解き放ち、

意味も何も考えなく、ただご自分が楽しいと感じることを追求してみてください。

2つの過去世でも、Yさんはとても真面目でいらっしゃいました。

その名残が魂に染みついています。

これからはもう少しご自身が楽しい、

嬉しいという気持ちをたくさん味わえる時間を持つことが大切です。

次に申し上げるのは土星です。

ホロスコープの中の土星は人生の要として重要です。

もちろん太陽もとても大切なのですが、

太陽の役割についてはYさんは十分に果たされている感じがしますので、

今回は土星について述べさせていただきますね。

Yさんは12室の牡羊座の土星なのですが、

12室は精神世界について探求し、その叡智を自分の未来(夢)に活かすことで、

自己実現の充実感を味わえるという意味があります。

先ほど、7室の蠍座の海王星について述べましたが、

蠍座の海王星にはもう一つの側面があります。

それは、深層心理や精神世界への関心の高さです。

きつとこの方面の探求心がYさんの魂磨きに役立つはずで

牡羊座の土星は、真っ新たなキャンパスに新しい価値観を育てる

そんな意味がありますので、今まであまり知らなかった、

でも興味のある分野、深層心理や精神世界について探求していくことは

魂の栄養になること、すなわち運命の人との出会いの扉を開くことになります。

以上がリーディング内容になります。

.....ま と め .....

■ あなたの過去世は

一つは、1700年～1800年にヨーロッパで男性教師でした。

一つは、病弱な一生を過ごした裕福でインテリジェンスな男性でした。

■ あなたの選ぶべき生き方は？

一つ目の過去世では、彼は奥さんに振り回されて自分のキャリアを台無しにしたことを後悔しています。誰かとのパートナーシップはご自身にとってマイナスだったことが大きく影響しているのではないのでしょうか。今、仕事を熱心にされているのもそのことを挽回しようとしていると言えるかもしれません。けれども彼の孤独もまた事実です。その孤独に目を背けてきたために、パートナーに振り回されてしまった部分もあります。その怖れが現在にも影響しているのかなと思われるます。

もう一つの過去世では、ご病気で動けないご自身の無価値感が大きかったようです。そのため社会に貢献している、社会と関わりたいことを強く望んでいました。今はそれが叶っている状態のようです。前世の分を取り返すがごとく、動いていたために、ちょっとだけパートナーシップを築くという行動を起こすのが遅くなってしまったということが言えると思います。

2017年3月9日

こんにちは、中村まみです。

リーディングはいかがでしたか？恋愛は私たちの人生に大きく影響しています。だからこそ人生のいろいろなところと繋がっています。今痛みを感じているなら、それは過去世のものではなく、『今』なのです。そしてその痛みは、あなたの運命の人と必ずどこかでつながっています。

私をご提供しているセラピーは過去世も含めた癒しを起こします。

「今」のご自身からみつめて、痛みを解放していけば過去世も含めて癒されます。それが「今」のとてもすごい力です。

なので、過去世はあくまでも今につながるツールの一つとして、考えて頂ければなどと思います。

痛みの解放に有効なこと、愛する人に出会う方法、下記のブログにたくさん書いていますのでご参考になると幸いです。

『アダルトチルドレンから卒業し素敵な恋愛を運命の人とするセラピー』

<http://soulmatelesson.com/>

『復縁セラピーで元彼にもっと愛される潜在意識の法則』

<http://fukuentherapy.com/>

『非二元(ノンデュアリティ)でこの幻想の世界を遊ぼう』

<http://acimlessons.blog.fc2.com/>